

【外国語・中1・「Unit 5 エミリーの家で」①】

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) canを用いた文、whoを用いた疑問文とその応答、人称代名詞(目的格)の用法を理解し、紹介活動において活用する力
(思考力,判断力,表現力等) ALTに自分の家族のことを知ってもらうために、特技や特徴などを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある内容を話す力
(学びに向かう力,人間性等)ALTが知りたいことに応じて、特技や特徴などを整理し、簡単な語句を用いてまとまりのある内容を話そうとする力

ICT活用のポイント

- ・紹介活動に生かせるように、**デジタル教科書のマスキング機能**を使い会話の内容を想起し、語句を補いながら本文を音読する。
- ・家族について内容を整理して伝えることができるように、**デジタル教科書のテキストボックス**をメモとして使う。

本時6/11時間

【つかむ】

教科書本文内容を理解し、本時のめあてをつかむ。

【追究する】

教科書本文を各自で音読する。

家族について伝えたいことを整理する。ペアで伝え合う。

【まとめる】

友達に紹介した内容を英文でまとめる。言語面と内容面から学習の振り返りをする。

事例の概要

<本時のめあて>

友達の家族について質問したり、自分の家族の特技や特徴を伝えたりしよう。

- 家庭学習として、デジタル教科書を活用して、本文を聞いたり、音読をしたりするよう伝えておく。
- 内容に関するQ&A、ALTや生徒とやりとりをし、本時のめあてに気付かせる。

【事例におけるICT活用の中心場面①】

- 各自のペースで本文を数カ所消しながら教科書本文を音読**する。内容を想起し、紹介活動につながるように語句を補いながら音読する。

【事例におけるICT活用の中心場面②】

- ペアで家族について尋ねたり、詳しく紹介したりする活動の際、**テキストボックスに、各自で伝えたいことをキーワードでメモ**をし、内容を整理して伝え合う。

- 友達に伝えた紹介文を英文で書いておく。学習支援ソフトを活用し、保存する。
- 言語面、内容面から本時の学習を振り返り、各自で**学習支援ソフトに記入**する。

【外国語・中1・「Unit 5 エミリーの家で」】②

<単元の課題>

町の人々と仲良くなってもらうために、ALTに自分の家族のことを知ってもらう家族紹介スピーチをしよう。

【事例におけるICT活用の場面①】

【事例におけるICT活用の場面②】

終末の生徒の姿



個人のペースで消す場所を増やして練習

教科書本文の会話を紹介の際に活用



伝える内容は文ではなく、単語やフレーズで



生徒

○教科書本文の内容理解の確認をスムーズにするために、家庭で**デジタル教科書**を活用して本文の音声を聞いたり、音読したりする。

▶本時で**生徒同士で家族を紹介する活動の時間が十分に確保**できた。

○**マスク機能**を活用して、個々で本文の**音読**練習をする。

▶会話の内容を想起し、語句を補いながら音読することで、後の紹介活動で**本文の会話を活用してやりとりしながら伝え合っていた。**

○家族についての情報や自分の考え、気持ちなどを整理して相手に伝えるために、**デジタル教科書のテキストボックス**を活用して、**内容をまとめる。**

▶1回目の活動後、中間評価を行った。数名の生徒の発表について、教師はスピーチのよいところや構成の工夫点に気付けるような声かけをし、全体で共有した。

▶自身の**テキストボックスに書いた内容について再構成**し、相手が知りたいことを意識し、より家族のことをわかってもらおうとスピーチを考えていた。

S1: Who is this man?

S2: He is my brother. His name is ○○. He is very tall.

S1: Can he play any sports?

S2: Yes, he can play basketball well. And he is friendly. I like him.

S1: I see.

▶「ALTに家族のことをわかってもらう」という伝える目的を意識して、**詳しく伝える情報や伝える順番をそれぞれの生徒が工夫しながら紹介**していた。

【活用したソフトや機能】

・学習者用デジタル教科書

・学習支援ソフト（プレゼンテーション機能）